

## 国家公務員制度に関する勉強会 議事要旨

1. 日時等 令和5年3月30日(木) 14:00~15:55 ※オンライン開催

### 2. 出席委員

芦立 秀朗 京都産業大学法学部法政策学科教授  
出雲 明子 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授  
(座長) 伊藤 正次 東京都立大学大学院法学政治学研究科教授  
北島 周作 東北大学大学院法学研究科教授  
竹内 寿 早稲田大学法学学術院教授  
林 知更 東京大学社会科学研究所教授  
※曾我部真裕委員(京都大学大学院法学研究科教授)は欠席。  
※各委員の所属・役職は令和5年3月30日時点

### 3. 議事次第

伊藤座長から御発表

テーマ:「日本の国家公務員制度の持続可能性と変革可能性」

### 4. 概要

○ 伊藤座長から御発表

※人事院ホームページに資料を掲載

○ 伊藤座長による御発表後、質疑応答を実施。主に以下のような内容について意見交換がなされた。

- ・ 行政実務を支える法律的な知識等の官庁外部からの調達可能性についての質問がなされ、それが可能なものとそうでないものがそれぞれあるが、今後民間との人材交流を円滑に行う上では、外部調達が可能な部分を増やしていく必要がある旨の回答があった。
- ・ 急進的な改革を阻む「社会の壁」と現下の公務員制度の課題との関係性についての質問がなされ、日本社会のコアにある特徴が公務員制度にも投影されているとすれば、その抜本的な改革のためには社会システム全体の見直しも必要となる可能性がある旨の回答があった。
- ・ 今後の公務員制度の変化・発展の方向性についての質問がなされ、単に民間法制に近づいていくかどうかというだけでなく、行政システムの特徴を民間のシステムとの比較で捉えながら不断に検証していく必要がある旨の回答があった。
- ・ 公務員制度全体に関する各府省のスタンスについての質問がなされ、ここ数年複数の省庁において若手職員を中心に所管行政のみならず公務員制度に関する論点を扱う提言がなされるなどの動きが見られてきている旨の回答があった。

以 上